

成果指標				
成果指標	延長保育と一時保育の実施保育所数の合計			
指標設定の考え方	次世代育成支援の事業として、延長保育と一時保育の実施保育所数を増加する必要があるため、2つの保育の合計を成果指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標29年度
目標	7	7	7	7
実績	5	5	5	5

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>継続して保育士不足に対応することが必要である。 また、職員の資質向上のために研修会を開催し専門的知識の習得を図る必要がある。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>常に関係機関・学校と連携を図りながら、保育士不足に対応することが重要な課題と考える。 また、様々な雇用形態があるため、保育士の資質向上のための研修を進めていく必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題